
山梨大学 教育人間科学部 附属教育実践総合センター

センターだより第2号（通巻第69号）

2001年6月12日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
電話 055-220-8325, FAX 055-220-8790
e-mail:kjc@kkb.yamanashi.ac.jp
URL:http://www.kjb.yamanashi.ac.jp

第5回教育フォーラムのご案内

これまで、山梨大学教育人間科学部主催で、教育フォーラムを4回開催してまいりましたが、このたび第5回フォーラムを以下のように開催することになりました。奮ってご参加ください。なお、入場無料です。

テーマ「基礎学力を考える」

日時 平成13年6月30日（土）午後2時30分～4時30分

場所 山梨大学教育実践総合センター多目的教室（J号館5階）

パネラー

山梨県総合教育センター研修主事 谷沢英治氏，甲府市立池田小学校教諭 勝村正樹氏，中道町・豊富村中学校組合立笛南中学校教諭 三枝孝氏，山梨大学教育人間科学部助教授 進藤聡彦氏，（司会）山梨大学教育人間科学部教授 吉川行雄氏

公開講座「インターネットと教育」のご案内

実践センターでは、今年も教育実践関連、情報教育関連のそれぞれが企画し責任をもって開講する公開講座を開きます。今年の情報教育関連の公開講座は、学校内や市町村レベルで情報教育を推進する校内情報化推進リーダー・地域情報化推進リーダーと、都道府県レベルで県内全体の学校のネットワーク設計・運用・管理や、校内研修等のアドバイス等を行う教育情報化コーディネータという、学校の情報化や情報教育を推進する人材育成を目的とした内容を用意しています。学校で情報化の中心になろうと考えていらっしゃる先生、学校の情報化を支援しようと考えている一般の方の受講をお待ちしています。

日程 2001年7月7日（土）、7月14日（土）、10月6日（土）、10月20日（土）

各日とも 14:00～17:30（計14時間）

場所：山梨大学 教育人間科学部 附属教育実践総合センター

授業研究演習室（J号館4階 J422教室）

講師

中川一史（[金沢大学教育学部附属教育総合センター](#) 助教授）、安藤英俊（山梨大学総合情報処理センター 助教授）、栗田真司（山梨大学教育人間科学部生涯学習講座 助教授）他

受講料：6,800円（教育情報化コーディネータCD-ROM等教材費を含む）

募集期間：2001年5月14日（月）～7月2日（月）（土・日曜日をのぞく）9:00～16:30

受付場所：山梨大学教務課 公開講座担当 電話 055-220-8043 FAX 055-220-8796

教育実践総合センター導入機器紹介

総合情報処理センターが2001年3月に導入した「山梨大学総合情報処理センター情報システム」の一部が、共通利用設備として教育実践総合センターに配備されました。また、実践センターでは、共同研究プロジェクトを推進していますが、放送・通信機構（TAO）、山梨県、下部町等との連携による山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業で導入された機器も、プロジェクトに支障のない限り学内の教職員・学生の方々にも広く利用していただくことになりました。ご希望の方は、実践センター事務室（J号館4階J421 電話8325 e-mail:kjc@kkb.yamanashi.ac.jp）まで連絡してください。

テレビ会議システム

- ・双方向遠隔授業システム（山梨大学総合情報処理センター情報システム）
Polycom VS4000 一式，液晶プロジェクター SANYO LP-XG350他・・・授業研究演習室（J422）
- ・テレビ会議システム（山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業）
沖電気 * * * * 1台 ……多目的教室（J514）

動画編集用 P C

- ・デジタルコンテンツ作成機器（山梨大学総合情報処理センター情報システム）
SONY VAIO (PCV-RX70K) 2台，
VAIOギア（ジョグシャトル・コントローラ）2台，S-VHS/DV/ミニDV VTR 1台他
・・・マルチメディア教材作成室（J322）
- ・映像教材作成コンピュータ（山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業）
SONY VAIO (* * * *) 1台，i.LINKハードディスク(40GB)1台，
S-VHS/DV/ミニDV VTR 1台他 ……授業研究演習室（J422）

マルチメディア教材作成室整備計画について

マルチメディア教材作成室（J322）には、1994年度に導入されたApple Macintosh LC520等42台が「情報科学入門及び実習」等の実習や、語学演習関係の科目におけるwriting, readingの実習等に利用されてきました。しかし、現在は設備が老朽化しソフトウェアの更新も困難であり、機器の故障も続出しています（これまでにPC本体5台、プリンタ2台が故障のため廃棄）。そこで実践センター運営委員会等においてこの教室の整備方針を検討中です。一般的な情報教育実習のためには総合情報処理センターが整備するコンピュータ教室を利用できること、2002年度からはこの教室では15人以上のクラスでの教育利用の予定がないこと、Macintoshによる実習のできる教室のニーズがあることなどから、以下のような整備方針案を検討しています。ご意見、ご要望などを実践センターまでお寄せください。

- ・音楽・動画等の編集や、語学演習用ソフトウェア、学校等における子ども向け教材作成ツール、統計パッケージ等が利用できるようにする。
- ・Macintosh15台程度を教室の前半分、Windows15台程度を後ろ半分、PC-UNIX数台を廊下側に配置する。
- ・高等学校新教科「情報」教員養成課程の実習用教室としても利用可能な設備とする。
- ・現在総合情報処理センター管理下のコンピュータ教室と同じカード（学生証、身分証明書、YINSカード等）で、入退室できるコントローラを導入する。

センターだよりは、<http://www.kjb.yamanashi.ac.jp/pub/nl/>で見ることができます。

山梨大学 教育人間科学部 附属教育実践総合センター

センターだより第2号（通巻第69号）

2001年6月12日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
電話 055-220-8325, FAX 055-220-8790
e-mail:kjc@kjb.yamanashi.ac.jp
URL:<http://www.kjb.yamanashi.ac.jp>

第5回教育フォーラムのご案内

これまで、山梨大学教育人間科学部主催で、教育フォーラムを4回開催してまいりましたが、このたび第5回フォーラムを以下のように開催することになりました。奮ってご参加ください。なお、入場無料です。

テーマ「基礎学力を考える」

日時 平成13年6月30日（土）午後2時30分～4時30分

場所 山梨大学教育実践総合センター多目的教室（J号館5階）

パネラー

山梨県総合教育センター研修主事 谷沢英治氏，甲府市立池田小学校教諭 勝村正樹氏，中道町・豊富村中学校組合立笹南中学校教諭 三枝孝氏，山梨大学教育人間科学部助教授 進藤聡彦氏，（司会）山梨大学教育人間科学部教授 吉川行雄氏

公開講座「インターネットと教育」のご案内

実践センターでは、今年も教育実践関連、情報教育関連のそれぞれが企画し責任をもって開講する公開講座を開きます。今年の情報教育関連の公開講座は、学校内や市町村レベルで情報教育を推進する校内情報化推進リーダー・地域情報化推進リーダーと、都道府県レベルで県内全体の学校のネットワーク設計・運用・管理や、校内研修等のアドバイス等を行う教育情報化コーディネータという、学校の情報化や情報教育を推進する人材育成を目的とした内容を用意しています。学校で情報化の中心になろうと考えていらっしゃる先生、学校の情報化を支援しようと考えている一般の方の受講をお待ちしています。

日程 2001年7月7日（土）、7月14日（土）、10月6日（土）、10月20日（土）

各日とも 14:00～17:30（計14時間）

場所：山梨大学 教育人間科学部 附属教育実践総合センター

授業研究演習室（J号館4階 J422教室）

講師

中川一史（[金沢大学教育学部附属教育総合センター](#) 助教授）、安藤英俊（山梨大学[総合情報処理センター](#) 助教授）、[栗田真司](#)（山梨大学教育人間科学部生涯学習講座 助教授）他

受講料：6,800円（教育情報化コーディネータCD-ROM等教材費を含む）

募集期間：2001年5月14日（月）～7月2日（月）（土・日曜日をのぞく）9:00～16:30

受付場所：山梨大学教務課 公開講座担当 電話 055-220-8043 FAX 055-220-8796

教育実践総合センター導入機器紹介

教育実践総合センターには、総合情報処理センターが2001年3月に導入した「****」の一部が、共通利用設備として配備されました。また、学外との連携によりすすめている山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業で導入された機器も、プロジェクトに支障のない限り学内の教職員・学生の方々にも広く利用していただくことになりました。ご希望の方は、実践センター事務室（J号館4階J421 電話8325 e-mail:kjc@kkb.yamanashi.ac.jp）までお問い合わせください。

テレビ会議システム

- ・双方向遠隔授業システム（***により2001年3月導入）
Polycom VS4000 一式、液晶プロジェクター SANYO LP-XG350他・・・授業研究演習室（J422）
- ・テレビ会議システム（山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業により2000年3月導入）
沖電気****1台・・・多目的教室（J514）

動画編集用PC

- ・デジタルコンテンツ作成機器（***により2001年3月導入）
SONY VAIO (PCV-RX70K) 2台、
VAIOギア（ジョグシャトル・コントローラ）2台、S-VHS/DV/ミニDV VTR 1台他
・・・マルチメディア教材作成室（J322）
- ・映像教材作成コンピュータ（山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業により2000年3月導入）
SONY VAIO (****) 1台、i.LINKハードディスク(40GB)1台、
S-VHS/DV/ミニDV VTR 1台他・・・授業研究演習室（J422）

マルチメディア教材作成室整備計画について

マルチメディア教材作成室（J322）には、1994年度に導入されたApple Macintosh LC520等42台が「情報科学入門及び実習」等の実習や、語学演習関係の科目におけるwriting, readingの実習等に利用されてきました。しかし、現在は設備が老朽化しソフトウェアの更新も困難であり、機器の故障も続出しています（これまでにPC本体5台、プリンタ2台が故障のため廃棄）。そこで実践センター運営委員会等においてこの教室の整備方針を検討中です。一般的な情報教育実習のためには総合情報処理センターが整備するコンピュータ教室を利用できること、2002年度からはこの教室では15人以上のクラスでの教育利用の予定がないこと、Macintoshによる実習のできる教室のニーズがあることなどから、以下のような整備方針案を検討しています。ご意見、ご要望などを実践センターまでお寄せください。

- ・音楽・動画等の編集や、語学演習用ソフトウェア、学校等における子ども向け教材作成ツール、統計パッケージ等が利用できるようにする。
- ・Macintosh15台程度を教室の前半分、Windows15台程度を後ろ半分、PC-UNIX数台を廊下側に配置する。
- ・高等学校新教科「情報」教員養成課程の実習用教室としても利用可能な設備とする。
- ・現在総合情報処理センター管理下のコンピュータ教室と同じカード（学生証、身分証明書、YINSカード等）で、入退室できるコントローラを導入する。

センターだよりは、<http://www.kjb.yamanashi.ac.jp/pub/nl/>で見ることができます。